

- 問1 奈良時代の貴族の食生活を記した資料からは、都で千葉県産のアワビや石川県産のサバといった全国各地の特産物が消費されていたことがわかります。このように、各地の産物を都まで運び、中央政府へ直接納めるよう定められた税の仕組みを何と呼びますか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 調 2. 公事 3. 庸 4. 租
- 問2 律令制度における土地の配分ルールについて説明した記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。なお、面積の単位である「段」を用いて説明するものとします。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 唐の制度にならい、全ての農民に二段の土地が与えられたが、女性には土地を受け取る権利が認められていなかった。
2. 戸籍に基づいて6年ごとに配分が行われ、良民の男性には二段、女性にはその三分の二の面積の区分田が与えられた。
3. 土地の配分は一生に一度だけ行われ、男女の区別なく一律に三段の区分田が支給された。
4. 開墾した土地は永久に私有が認められたが、その代わりに面積の一分を区分田として国に返還しなければならなかった。
- 問3 大宝律令の制定によって確立された「公地公民」の原則に基づき、当時の人々の生活や税制について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 有力な農民に名主としての権利を認め、年貢の納入を請け負わせる名主制を導入した。
2. 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。
3. 検地を行い、農地を実際に耕している農民を土地の所有者として認め、地租を課した。
4. 大名に参勤交代を義務付け、その領地で収穫される米の量を石高として登録した。
- 問4 奈良時代の出来事を記した略年表において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことのり）を出した時期と同時期に栄えた「天平文化」の特色を説明したものとして、正しいものはどれか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 平氏一族が権力を握り、畿島神社の造営など貴族的な文化が華開いた。
2. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な気風をもった文化が全国的に広まった。
3. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色をもつ。
4. 国学や蘭学が発達し、庶民の間でも読み・書き・算盤が普及した。
- 問5 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品々が納められている正倉院の宝物には、西アジアやインドを起源とする文様が施された楽器や器が多く残されています。このように、当時の日本で国際色豊かな文化が形成された背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 日明貿易の進展により、明の進んだ工芸品や禅宗の文化が武士の間に定着したため
2. 南蛮貿易によって、ヨーロッパのキリスト教文化や鉄砲の技術が日本に伝来したため
3. 日本独自の風土や生活感情に合わせた、貴族中心の国風文化が地方まで広まったため
4. 遣唐使の派遣などを通じて、唐の文化やシルクロードを経由した諸国の文化が日本に流入したため
- 問6 律令国家において、現在の福岡県にあたる九州北部に設置された役所について述べます。地理的に朝鮮半島や中国大陸に近いことから「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、外交や国防の拠点となったこの組織の名前を選びなさい。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 問注所 2. 大宰府 3. 多賀城 4. 開拓使
- 問7 東大寺の正倉院に代表される、三角形の木材を組み上げた校倉造の建築物には、当時の国際交流を裏付ける工芸品が多く収められている。これらの宝物が日本にもたらされた歴史的背景として、最も適切な説明を選べ。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 朝鮮通信使の来日により、儒教の経典や朝鮮半島の高度な製陶技術が日本各地に広まった。
2. 勘合貿易の実施により、明の皇帝から贈られた美術品が日本の武家文化に影響を与えた。
3. 南蛮貿易の進展により、ポルトガルやスペインの宣教師がキリスト教とともにヨーロッパの文物を持ち込んだ。
4. 遣唐使の派遣により、シルクロードを経由して唐に集まった西アジアなどの文化が日本に伝わった。
- 問8 律令国家のもとでの人々の暮らしについて、九州北部の警備を目的として主に東国などの農民から徴収され、3年の任期で派遣された兵士を何と呼びますか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 衛士 2. 健児 3. 防人 4. 足輕
- 問9 奈良時代、日本の仏教の教えを正しく広めるために、唐から5度におよぶ渡航の失敗や失明という困難を乗り越えて来日し、奈良に唐招提寺を建立した僧は誰ですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 鑑真 2. 法然 3. 栄西 4. 最澄
- 問10 当時の税制度において、農民の負担が極めて重かったとされる理由の一つに、都まで税を運ぶ際の手続きがあります。「調」や「庸」といった税を都まで運ぶ負担について、正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 蒸気船や鉄道などの交通インフラが未発達だったため、基本的には河川を用いた水運のみが利用された。
2. 各国の国司が責任を持って輸送し、農民は自分の住む郡の役所に納めれば完了した。
3. 地頭が徴収を代行し、幕府が指定した運送業者がまとめて都へ輸送した。
4. 運脚と呼ばれ、農民自らが都まで運び、その道中の食料も自前で用意しなければならなかった。
- 問11 710年に遷都された平城京を中心とする時代において、社会の不安を鎮めるために仏教の力を利用し、東大寺の建立や大仏の造営を行った人物は誰ですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 聖武天皇 2. 足利義満 3. 桓武天皇 4. 後白河天皇
- 問12 律令国家が成立した時代、人々の生活と税制度の関係について述べた文として、当時の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
1. 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田が与えられ、その収穫から稲を納める「租」が課された。
2. 有力な農民に土地の私有が認められる代わりに、収穫した稲をすべて都へ運ぶ義務が生じた。
3. 防人として九州の警備にあたる者は、その見返りとして「租」の負担がすべて免除された。
4. 都での大規模な土木工事に従事する代わりに、特産物を納める「調」が免除される仕組みがあった。
- 問13 奈良時代の743年に制定された、新しく自分で開墾した土地を永久に自分のものにすることを認める法律を何といいますか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法 2. 三世一身の法 3. 大宝律令 4. 班田収授の法